

多様な教育制度等について

■ 論点

- 教育制度等について、基本方針を踏まえ導入の必要性等について協議する。
- 特に、全国からの生徒募集について、導入による効果・課題も踏まえ、どのような導入範囲及び導入方法が望ましいかという視点で検討する。

1 本県で導入済みの教育制度等について

区分	内容	導入校
総合学科	一つの学科の中で、普通科目のほか、希望や進路に応じて、多くの科目を総合的に学ぶことができる高校。	東青：青森中央高校 西北：木造高校 木造高校深浦校舎 中南：尾上総合高校 上北：七戸高校 下北：大湊高校
総合選択制	複数の学科が設置され、自分が学んでいる学科以外の学科の科目も自由に選択できる高校。	中南：弘前実業高校
全日制普通科 単位制高校	学年の区別がなく、入学から卒業までに、決められた単位を取れば卒業できる全日制普通科の高校。	東青：青森東高校 中南：弘前南高校 三八：八戸北高校 下北：田名部高校
併設型中高一 貫高校	6年間の計画的かつ継続的な一貫した教育指導を行うことにより、生徒の資質・能力を最大限に伸長し、進路希望の達成を目指す高校。	上北：三本木高校 (附属中学校)
普通科と職業 に関する専門 学科併置	普通科と商業科など職業に関する専門学科が併置されている高校。	中南：黒石高校 弘前実業高校 上北：十和田西高校 百石高校
くくり募集	複数の学科をまとめて募集し、入学後にガイダンス等を行って、生徒が希望学科を選択する募集方法。	東青：青森商業高校 西北：五所川原高校 上北：三沢商業高校
多部制の定時 制高校	午前部、午後部、夜間部等を設定することにより、生徒の生活パターン等に合わせた科目の履修が可能となる定時制高校。	東青：北斗高校 中南：尾上総合高校 三八：八戸中央高校

2 全国からの生徒募集について

(1) 本県における県外からの生徒の受入れ状況

① 県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱協定（隣接協定）による受入れ
○隣接協定を岩手県と秋田県の2県と本県の間で、それぞれ締結しており、隣接協定に定める市町村等に住所を有する者が協定に定める本県の高校に志願することを認めている。
② 保護者の転勤等による一家転住による受入れ
○保護者の転勤、転居等により、志願者が高校の入学日までに保護者とともに本県に居住することが確実な場合は本県の高校に志願することを認めている。

(2) 他県における実施状況

ア 実施状況

平成28年度	約30%増 ➡	令和2年度
21道県 (44.7%)		35道府県 (74.5%)

※令和2年度未実施都道府県（12都府県）

〔青森県、宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、
富山県、福井県、愛知県、大阪府、香川県、
佐賀県、沖縄県〕

イ 実施対象

実施対象	実施都道府県
全ての高校を実施対象	秋田県、島根県（84校）
特定の高校を実施対象	秋田・島根県を除く33道府県（273校）

ウ 特定の高校を対象としている高校の主な実施方法

① 小規模校（1学年3学級以下）において実施（実施している高校の割合：61.2%）
（例）広島県：1学年1学級規模の高校において、協議会を設置して、全校生徒数が80人以上となるよう活性化策を検討しており、活性化のために取り得る方策の一つとして、希望する学校において、県外からの生徒の受入れを可能としている。
② 特色ある学科・コースにおいて実施（実施している高校の割合：31.9%）
（例）岩手県：岩手県立種市高校では全国で唯一、潜水と土木の基礎的知識と技術を学ぶことができる学科（海洋開発科）を設置しており、県外からの生徒の受入れを可能としている。
③ 特定の部活動において実施（実施している高校の割合：11.4%）
（例）京都府：全国大会優勝などの優秀な成績を収めている京都府立北桑田高校の自転車競技部とスポーツライミング部、京都府立須知高校のホッケー部について、部活に加入することを前提に、県外からの生徒の受入れを可能としている。

※複数の実施方法に該当する高校があるため、百分率（%）の合計は100.0%に一致しない。

エ 県外生徒の募集定員

募集定員に制限を設けている高校の割合	募集定員に制限を設けている例
90.8%	○学科の募集定員の5～50%の上限を設ける ○前期（推薦）選抜のみ県外生徒を募集する ○県内外含めた志願者数の合計が募集定員を超えた場合のみ上限を設ける

オ 県外生徒が多数入学している高校の事例

■ 島根県立隠岐島前高校の状況

学科・定員	普通科・80名（1学年当たり2学級）				
導入年度	平成22年度				
生徒数	■令和2年5月1日現在				
	学年	1学年	2学年	3学年	計
	県外生徒数	32名	24名	24名	80名
	県内生徒数	28名	19名	26名	73名
	計	60名	43名	50名	153名
出願要件等	島根県内に居住する確かな身元引受人が必要（原則として、志願者の親族である祖父母、おじ、おば等）。身元引受人がこれ以外の場合、当該高等学校長は身元引受人を認めて出願を許可する。				
特色ある取組	○スーパーグローバルハイスクール（H27～）				
町等による補助・助成事業等	<ul style="list-style-type: none"> ○里帰り交通費補助 ○保護者来島費補助 ○海外留学補助 ○海士町すこやか子育て支援金（転入生徒等奨励祝金） ○海士町頑張る子供応援事業補助（島前地域外でのスポーツ文化活動への補助） ○島前内航船助成 ○教育魅力化コーディネーター配置 ○隠岐国学習センター（公立塾）の運営 ○居住環境の整備 				

■ 岩手県立葛巻高校の状況

学科・定員	普通科・80名（1学年当たり2学級）				
導入年度	平成27年度				
生徒数	■令和2年5月1日現在				
	学年	1学年	2学年	3学年	計
	県外生徒数	14名	6名	1名	21名
	県内生徒数	35名	33名	42名	110名
	計	49名	39名	43名	131名
出願要件等	葛巻町が取り組んでいる「くずまき山村留学生」の候補者となること。				
特色ある取組	○連携型中高一貫教育				
町等による補助・助成事業等	<ul style="list-style-type: none"> ○制服購入費補助 ○学校給食提供 ○葛巻町学習塾（公立塾）の運営 ○居住環境の整備 ○町等が実施する酪農体験などの体験活動への参加費無料 				

(3) 全国からの生徒募集による効果・課題（他県への聞き取り）

ア 県内生徒への効果・課題

効果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ○生徒数が確保されることによる教育活動の充実 ○県内生徒と県外生徒との出会いにより、多様な価値観に触れ、コミュニケーション能力の向上や切磋琢磨する気持ちの醸成 ○県内生徒だけの交流では今まで気づきにくかった地元の魅力の再発見 	<ul style="list-style-type: none"> ○県内生徒の募集人員の減少

イ 県外生徒への効果・課題

効果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ○県内生徒と県外生徒との出会いにより、多様な価値観に触れ、コミュニケーション能力の向上や切磋琢磨する気持ちの醸成 ○親元を離れた生活環境を通じた自立心・忍耐力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○県外生徒の生活環境の確保 ○緊急時の対応（災害、病気等）

ウ 地元自治体等（受入側）への効果・課題

効果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ○生徒数が確保されることによる地域と学校の連携の活性化 ○関係人口の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ○地元自治体の理解と支援 ○高校の魅力化及び広報の充実 ○県内生徒と県外生徒の人数のバランス

【参考：東北地方における全国からの生徒募集実施状況】

県名	学校名 (学科・定員)	県外生徒定員	R2県外 入学者数	寮	出願要件等
岩 手 県	葛巻高校 (普通科・80名)	高校の募集定員の範囲 内	14名	町営	葛巻町が取り組んでいる「くずま き山村留学生」の候補者となるこ と
	<small>おおほさま</small> 大迫高校 (普通科・40名)	高校の募集定員の範囲 内	0名	市営	花巻市が取り組んでいる「高校生 おおほさま留学生」の候補者とな ること
	水沢農業高校 (農業科学科・40名)	高校の募集定員の範囲 内	0名	県営	馬学に対する強い関心を持ち、明 確な志願理由があること
	種市高校 (海洋開発科・40名)	高校の募集定員の範囲 内	3名	—	海洋開発科に対する強い関心をも ち、明確な志願理由があること
	平館高校 (普通科、家政科学 科・各40名)	各学科4名	1名	—	県内からの志願者と同じ
	住田高校 (普通科・40名)	4名	0名	—	県内からの志願者と同じ
	遠野高校 (普通科・160名)	3名	1名	—	県内からの志願者と同じ
	遠野緑峰高校 (生産技術科、情報処 理科・各40名)	各学科4名	0名	—	県内からの志願者と同じ
	<small>おおつち</small> 大槌高校 (普通科・80名)	8名	0名	—	県内からの志願者と同じ
秋 田 県	全ての高校 (6,962名)	各学科募集定員の10% 以内	97名		県内からの志願者と同じ 県境隣接地域県立高等学校入学 志願取扱協定による受入れ含む
山 形 県	加茂水産高校 (海洋技術科、海洋資 源科・各40名)	募集定員に対して、県 外からの志願者の合格 者数の割合は特に定め ないが、志願者数の合 計が募集定員を超えた 場合は、原則として制 限	1名	—	県外から志願し入学した生徒 が、保護者と離れて生活する ことになる場合、生徒の住居 や保護者に代わり指導や世話 を行う人物について届け出る こと
	<small>ゆざ</small> 遊佐高校 (総合学科・40名)		5名	— (下宿費 補助)	
福 島 県	川口高校 (普通科・40名)	高校の募集定員の範囲 内	県として 県外入学 者数を把 握してい ない	県営 町営	保護者の代わりに志願者を監 督、保護する者が居住するこ と
	南会津高校 (普通科・70名)			町営	
	只見高校 (普通科・40名)			町営	
	ふたば未来学園高 校 (総合学科・160名)			県営	